

平成31年度 予算

次の100年に向けた人材育成と未来への投資 「新しい米百俵」で 未来を切り開く

平成31年度の当初予算が決まりました。予算の骨格をお知らせします。

閏財政課 39・2209

新年度予算の重点施策

- ①人材育成と未来への投資
- ②暮らしの安心と安全の確保
- ③がんばる市民・団体と地域の支援
- ④長岡の魅力発信と交流人口の拡大
- ⑤行政サービスの高度化・効率化
- ⑥不正行為再発防止の取り組み

※各施策の詳細は4～8ページ



昨年6月にオープンした、大学・高専と企業の交流の場「NaDeC BASE」



市民が互いに支え助け合う活動を強力にバックアップするほか、長岡の魅力を全国・世界に発信し、交流機会の拡大と交流基盤の整備によって交流人口の拡大に取り組みます。さらに、行政サービスの高度化・効率化を行うとともに不正行為の再発防止にしっかりと取り組みます。

「新しい米百俵」で長岡の未来を切り開く。長岡に生まれて良かった、住んで良かったと心から思える、市民の誰もが自信と誇りを感じられるまちを創っていきます。

また、子育て環境の整備や、健康・福祉・医療のさらなる充実と共生社会の実現に向けた取り組みを着実に進めます。防災・災害対策、中山間地域と支所地域の生活の安心確保、身近な住環境の整備と地域経済の支えにより、暮らしの安心と安全を確保します。

注ぎ、教育環境を整備し、未来への投資を進めます。

平成31年度は、「新しい米百俵」の元年として、大きな一歩を踏み出す年です。次の100年に向け、未来を創る人づくりの精神を大切にしながら、将来につながる投資を果敢に行います。

より多くの若い人たちが長岡を選び、就職して結婚し、子どもを生み育てるまち、住み続けるまちにする。そのために、産業振興に力を入れて働く場を創出し、併せて将来に向けた都市インフラの整備を進めます。子どもたちが自分の人生を切り開いていけるよう人材育成に力を

特別会計 552億7,170万円

特定の収入(保険料や使用料など)で支出を賄います。

国民健康保険	237億3,300万円
国保寺泊診療所	8,350万円
後期高齢者医療	28億4,380万円
介護保険	276億9,420万円
診療所(小国・山古志)	3億2,930万円
浄化槽整備	5,400万円
簡易水道	5億3,390万円

企業会計 279億2,850万円

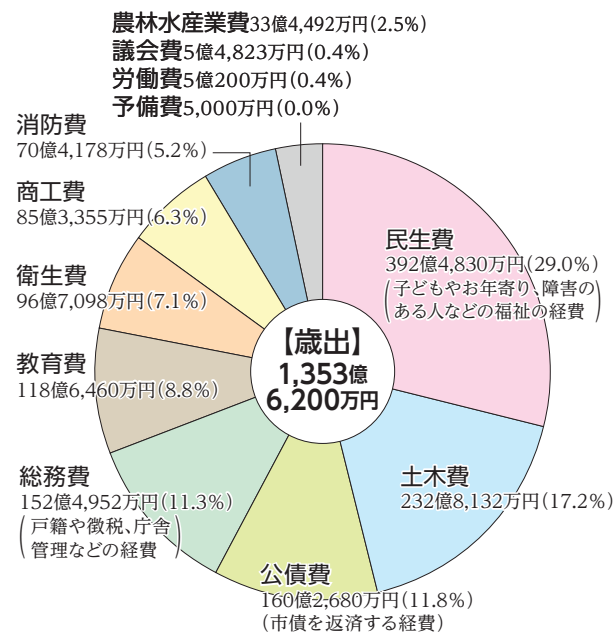
市が企業として経営し支出は収益で賄います。

下水道	179億1,820万円
水道	100億1,030万円

一般会計 + 特別会計 + 企業会計 =
総額2,185億6,220万円

※一般会計において、国の補正予算に伴い、当初予算議決後に学校施設整備予算などの一部を平成30年度に前倒しました

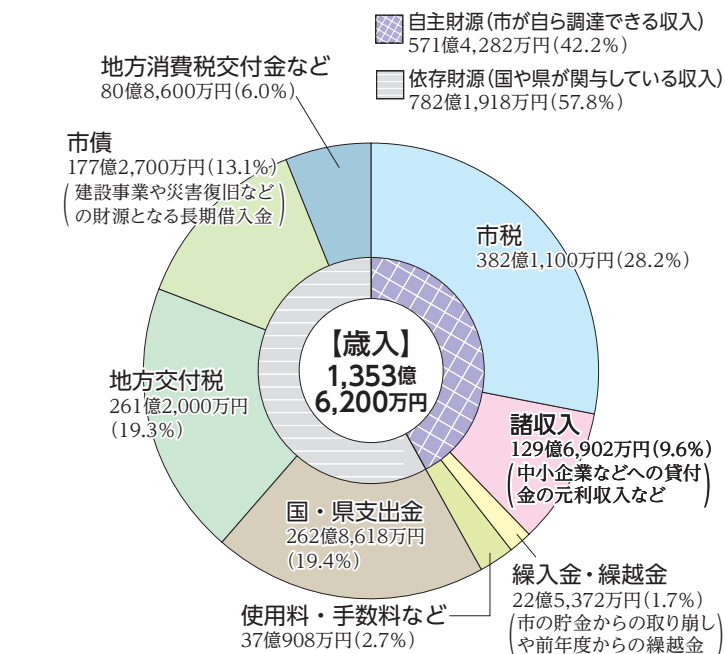
歳出



一般会計は1,353億6,200万円

(前年度比2.4%減)

歳入



予算の状況